

東京教区時報

第1052号
2007年10月14日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇10月の代祷・信施奉獻先

▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(第3主日)▽社会事業の日(28日)

◆教役者レクイエム

10月17日(水) 10時半

主教座聖堂

説教者 司祭 石坂みどり
▽司祭 山田助次郎▽主教 松井米太郎▽司祭 河合良隆▽司祭 遠藤敏雄▽司祭 青木毅三▽主教 八代斌助▽主教 高瀬恒徳▽司祭 牛島惣太郎▽司祭 副島虎十▽伝道師 長尾よつ▽伝道師 前田華江▽司祭 坂下内匠▽主教 山田 襄▽司祭 竹

之内瑞男▽司祭 岡 精三

◆としえの平安

9月23日 柴田 遥子(81) 聖マルコ

▽立教女学院・築地記念碑除幕式 創立130周年(明治10年創立・湯島)を迎えた記念事業のひとつとして、築地・聖路

加国際病院構内に「立教女学院築地居留地校舎跡記念碑」を設置し、10月25日(木) 10時半から除幕式を行なう。

▽教区HP主教メッセージ更
新 毎月末には更新されているが、10月は「開く・信じる・あじ食べる」教区フェスティバル・テーマを一般向けに解説、展開している。

今週・来週の予定 10月14日～27日

- 14(日) 聖霊降臨後第20主日
主教巡回
聖アンデレ教会
- 16(火) 礼拝音楽委員会
- 17(水) 教役者レクイエム
(主教座)
山手G牧師協議会
(聖マーガレット)
- 18(木) 月島聖公会将来計画
検討特別委員会
聖職養成委員会
主教座聖堂活動委員会
- 21(日) 聖霊降臨後第21主日
- 22(月) 財政委員会
- 23(火) 銀座朝祷会
臨時常置委員会
- 25(木) 信仰と生活委員会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

三羽鳥と上司から言われた。仕事が終わると寮生活の三人は集まって、ラーメンを食べながら夜明けまでおしゃべりをしていたことを上司は知っていたのだ。退職後、それぞれの生活になっても会いましょうと言いつつ、友人二人は病院通いで思うように会えず、電話で「春にね」「秋にね」と言いながら

《恵みに生かされて》 思いは深く

友人は、恒子さんは信仰が厚いから神様に守られているんだと言われ

て我に返り、そうだ、感謝と共に、障害は誰にも、何時でも起こりうるのだと…。

私の聖バルナバ教会は「存じの通り障害者と共に歩む教会として活動している。地下鉄から出れば目の前にある立地条件に恵まれながら深い地下、曲がった階段…。日高先生も障害者のお一人。お出掛けになる

時も帰られる時も、また教会に来られる方々もそうだが「階段がね」「階段がね」の言葉は何年も前から聞かされている。エレベーター、エスカレーターのある駅が多く見られるようになった昨今、神楽坂の教会としても駅にエレベーター、エスカレーターが欲しい。それによって

訪れ易く、訪れる方も多くになると思う。また、周辺にお住まいの方々も同様であろうと

思うところから、設置促進に取り組み始めた。教会だけでは、出来るわけではないのだが、

その方法、運動を考え始めている。老人が多くなるといふ現状からも、打開策を広げ共に深めていく必要がある。私自身、高齢になってもこのような活動に関わっていただけることは、神の恵みと感謝している。主の平安。

鈴木恒子

(牛込聖公会聖バルナバ教会信徒)

◇人事(10月1日付)

執事 ケビン・シーバー 聖路加国際病院・聖路加看護大学 および聖ルカ礼拝堂チャプレン 補佐 佐任命

▽「ナナム(分かちあい)の旅」出発 信仰と生活委員会主催、ソウル教区を訪問し祈りと学びと交流を深める旅(13日(17日)へ、団長・委員長井口諭司 祭らスタッフに高校生1人を含めて16人が参加している。

▽「一粒の麦の会」日帰りバスツアー 11月14日(水)、山梨県長坂聖マリア教会(聖餐式)と清春白樺美術館巡り。参加費4千円(昼食代込み)。申込み締切り 10月23日(火)、定員(50人)。7時45分、新宿駅西口集

合。照会などは090(6538)0852(足立代表)へ。

▽聖オルバン教会パイプオルガンコンサート 10月27日(土)16時、演奏とオルガンについての話 三浦はつみ(横浜聖アンデレ教会オルガニスト)。入場料2千5百円(学生千5百円)。照会は同教会宛に、TEL03(3431)3518。

◇秋のバザー(3) 28日 三光教会(11時30分～15時)・聖パウロ教会(12時～15時)・神田キリスト教会(11時半～14時半)・聖ヨハネ教会(12時～14時)・聖救主教会(まこと地域センター)10時～14時)・目白聖公会(11時～)・聖マルチン教会(11時半～15時)・立教諸聖徒礼拝堂(礼拝後)14時半)・聖三一教会

(12時～15時)・聖マーガレット教会(12時～15時)・聖マルコ教会(12時～15時)・八王子復活教会(12時～14時半)

◇教区墓地礼拝(司祭名は主任者) 11月1日(諸聖徒日)・木)・八柱霊園10時 神崎雄二司祭・染井墓地11時 下条裕章司祭・上川霊園11時 前田良彦司祭・谷中墓地14時 笹森田鶴司祭・青山墓地14時 大畑喜道司祭・雑司ヶ谷墓地14時 河野裕道司祭・八王子/東京/南多摩霊園 加藤俊彦司祭 2日(諸魂日・金)・小平霊園10時30分 井口諭司祭・春秋園10時30分 神崎和子司祭・多磨霊園14時 田光信幸司祭 「照会などは教区事務所宛に」

【学びと働きから】58

NCC教会教育フェスティバルに参加して

ある5歳のラブラドル犬が、ちよつとした物音に怯えるという。3歳の時に受けた大きな地震の後遺症らしい。飼い主は愛情と時間をかけて治療していかなくてはならない。

人間も動物も同じ。幼いときやささまざまな環境や受けた影響によって育っていく。

子どもたちは、豊かな愛情と文化環境の中で育てられなくてはならない。豊かな文化環境とは？それはとりわけ、豊かな言葉、愛情ある言葉をさしている。

情報過多の時代、商業主義の時代、子どもを取り巻く環境

は悪化していく。大人たちは子どもたちに何を与え、何を伝えていくべきか。

NCC教育部主催「全国教会教育フェスティバル」(9月・新宿・参加者百余人)の、第2日目、私は第10分科会で、おはなし夢夢主宰の尾松純子さんの講演と語りを聞いた。「心を育むことばの世界」をテーマに話される彼女の言葉はきらきら輝いていた。子どもの成長には、このような「ことばの力」が必要なのだと、楽しい手遊びと語りを織り交ぜての話に、参加者20人は90分間、一心に聞き入った。

本当に与えたいものをこそ、確信をもって、子どもたちに与えていかななくてはならない。

清瀬聖母教会 天野克彦

《今、この教会では…》

聖マルコ教会 転籍後1年未満の私が、このタイトルを云々するのは早過ぎますが、今感じている問題を、紙面の都合上、二つだけ取り上げます。

自分を含め、老齢化している教会で、若い信徒をいかに育成するか。それには、先輩信徒の皆さんが、長い人生で頂いた溢れる恩寵を若き信徒に積極的に伝える事が必要かと思えます。もう一つ、教会運営面の厳しさにどう立ち向かうか。黒字運営が理想的ですが、エクレシヤでは物質的に豊かではないほど、真の助け合いの心が強化されるものと確信しています。感謝をもって。

(島田義勝)